

第185回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成23年8月)

柏崎信用金庫

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,633	-1.10	0.08	4,072	0.12	0.17
東部地区	14,430	0.30	0.01	5,754	0.92	0.00
西部地区	10,616	-0.57	0.10	4,007	-0.02	0.12
駅南地区	6,293	0.44	-0.04	2,694	0.93	-0.11
半田地区	3,632	0.35	0.16	1,372	0.80	-0.14
横山地区	5,676	0.21	0.15	1,902	1.38	0.15
茨目・田尻地区	6,995	0.50	0.05	2,377	1.36	-0.08
荒浜地区	5,083	-0.03	-0.35	2,036	1.24	-0.24
その他地区	20,389	-1.57	-0.06	7,184	0.12	0.02
西山町地区	6,205	-1.09	-0.04	2,136	0.70	-0.04
高柳町地区	1,821	-5.25	-0.92	823	-2.71	-0.36
柏崎市計	90,773	-0.58	-0.01	34,357	0.51	0.00
刈羽村	4,869	-0.24	-0.08	1,575	1.48	-0.06
小国地区（長岡市）	6,168	-2.06	-0.01	2,114	-0.61	0.04
出雲崎町	5,089	-0.89	-0.07	1,807	-0.05	0.11
合計	106,899	-0.67	-0.02	39,853	0.46	0.00

（資料出所：柏崎市、各市町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続きすべての市町村・地区で減少しており、柏崎市で536人、0.58％、刈羽村で12人、0.24％、小国地区（長岡市）で130人、2.06％、出雲崎町で46人、0.89％とそれぞれ減少し、全体では724人、0.67％の減少となっている。また、前月比においても、柏崎市で15名0.01％、刈羽村で4人、0.08％、小国地区で1人、0.01％、出雲崎町で4人、0.07％減少したため、全体では24人、0.02％減少している。

一方、世帯数は、前年同月比では小国地区で13世帯、0.61％、出雲崎町で1世帯、0.05％と減少したが、柏崎市で177世帯、0.51％、刈羽村で23世帯、1.48％と増加したことから、全体では186世帯、0.46％の増加となった。また、前月比においては、刈羽村で1世帯0.06％減少したが、柏崎市で1世帯、0.00％、小国地区で1世帯、0.04％、出雲崎町で2世帯、0.11％増加した結果、全体では3世帯、0.00％増加している。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	1,228		21.34		6.68	
月間有効求職者	2,144		-1.28		-4.62	
月間有効求人倍率	0.57	0.66	0.10*	0.09*	0.06*	-0.01*

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを含む全数）では、月間有効求人数が1,228人と前年同月比で216人、21.34％の増加となり、前月比でも77人、6.68％増加している。

月間有効求職者数は、2,144人と前年同月比で28人、1.28％の減少となり、前月比でも104人、4.62％の減少となっている。

以上の結果、月間有効求人倍率は0.57倍と前年同月比で0.10ポイント上回り、前月比でも0.06ポイント上回っている。なお、県平均0.66倍と比べると0.09ポイント下回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを含む全数）については、月間新規求人数が555人と前年同月比で89人、19.09％の増加、月間新規求職者数が594人と前年同月比で40人、7.22％増加した結果、月間新規求人倍率は0.93倍となり、前年同月の0.84倍に比べて0.09ポイント上回っている。

3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成23年度累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅（併用）	50	29	9	189	64
共 同 住 宅	9	6	9	14	9
事 務 所	1	1	1	4	1
作 業 所・工 場	3	2	2	10	3
営 業 建 物	4	3	3	14	6
公 共 建 物	1	1	1	1	1
そ の 他	5	0	-3	47	-7
合 計	73	42	22	279	77

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況については、平成23年3月までは市受付分のみの集計でしたが、平成23年4月からは民間確認検査機関の受付件数を含む集計を掲載しております。なお、対前年同月比は平成24年3月分までは市受付分との対比となっております。当月の申請合計は73件と前年同月比で42件の増加、前月比では22件の増加となっております。なお、工種全体の申請内容は、新築が51件、増築が18件、改築が4件となっております。また一般住宅（併用）50件における市内・市外施工業者別の確認申請の状況は、市内施工業者が18件（うち新築10件、増築7件、改築1件）、市外施工業者が32件（うち新築23件、増築7件、改築2件）、となった。

4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	65,511	0.80	0.12	18,295	-14.82	12.86
電 力	10,634	-2.58	-0.10	42,246	-8.16	3.95

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で524口、0.80%の増加、前月比でも79口、0.12%と増加している。一方、電力においては、前年同月比で282口、2.58%減少し、前月比でも11口、0.10%の減少となっている。

使用量は、節電効果により電灯が前年同月比で3,185kwh、14.82%減少したが、前月比では2,086kwh、12.86%増加している。一方、電力においても、前年同月比で3,755kwh、8.16%減少したが、前月比では1,609kwh、3.95%の増加となっている。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	632,029	-5.96	-21.96	766,241	-2.57	10.52
営 業 用	234,208	-17.65	5.59	143,495	-5.42	19.85
工 場 用	826,093	6.80	-0.78	143,170	-4.82	1.06
官 公 学 校 用	430,829	-19.55	0.06	108,159	-5.00	6.66
そ の 他				179	40.94	198.33
合 計	2,123,159	-6.28	-7.48	1,161,244	-3.43	9.95

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計では前年同月比で142,348m³、6.28%減少し、前月比でも171,765m³、7.48%の減少となっている。用途別内訳を見ると、前年同月比では、工場用を除くすべての用途で減少しており、前月比では家庭用が大幅に減少している。

一方、水道給水量においては、前年同月比で41,357m³、3.43%の減少となったものの、前月比では105,157m³、9.95%と増加している。用途別内訳を見ると、前年同月比ではその他を除くすべての用途で減少、前月比では、すべての用途で増加している。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	100,547	-4.37	0.73	104,711	-5.86	0.31
西 山	50,114	-9.45	16.07	49,993	-10.60	20.79
米 山	30,335	-12.20	18.90	28,957	-11.50	21.03
合 計	180,996	-7.20	7.41	183,661	-8.11	8.23

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で14,055台、7.20%の減少となったが、前月比では12,502台、7.41%増加している。

一方、出口においても、全体では前年同月比で16,213台、8.11%の減少、前月比では13,971台、8.23%増加となっている。

インター別で見ると、前年同月比ではすべてのインターの入口・出口で減少しており、前月比はすべてのインター入口・出口で増加している。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	356,976	-0.27	-2.00	148,039	-0.27	-0.28
平 残	361,276	0.66	-0.83	147,811	0.48	-0.15

預金は、末残が前年同月比で989百万円、0.27%減少しており、前月比でも7,309百万円、2.00%減少している。平残においては、前年同月比で2,369百万円、0.66%増加したが、前月比では3,053百万円、0.83%の減少となっている。

一方、貸出金は、末残が前年同月比で404百万円、0.27%の減少となり、前月比でも423百万円、0.28%減少している。平残においては、前年同月比で715百万円、0.48%増加したが前月比では231百万円、0.15%の減少となった。

8. 手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	31,944	-6.20	24.10
交 換 金 額	25,114	-0.83	80.57
不 渡 り 手 形 枚 数	6	-89.28	200.00
不 渡 り 手 形 金 額	4	-88.19	2,494.23

(資料出所：長岡手形交換所)

当金庫が参加している長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で2,113枚、6.20%の減少したが、前月比では6,204枚、24.10%増加している。また、交換金額においては前年同月比で213百万円、0.83%減少しており、前月比では11,206百万円、80.57%の大幅な増加となっている。なお、不渡手形は6枚、4百万円発生している。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産7件（前年同月5件、前月11件）、負債総額61億円（同19億円、同63億円）となっている。地区別では、下越地区で7件（新潟市5件、村上市2件）、発生し、上越地区、中越地区では発生していない。業種別は、販売業3件、建設業2件、製造業1件、不動産業1件、となっており、倒産原因については、販売不振7件、となっている。

当月の企業倒産は、前年同月比では、件数で2件の増加となり、負債総額では42億円の増加となっており、前月比では件数は4件減少し、負債総額は1億5千万円減少している。なお、負債総額10億円以上の大型倒産が2件発生している。

これまで比較的抑えられてきた県内の倒産件数も、ここ2ヶ月連続で負債額10億円以上の大型倒産が複数発生するなど動向に変化がみられる。県内経済は持ち直しの動きが続いているものの、依然として厳しい状況にあり、円高やデフレ等による企業の先行きへの不安のほか、放射能汚染への懸念による外国人旅行者の動向等への影響がうかがわれる。